

戸開走行保護装置(常時作動型)検査記録表2

1/3

UCMP大臣認定番号		ENNNUN-2855-1			
検査者氏名		検査実施日			
検査対象	検査内容	判定基準		検査記録	
1. 全体	型式(UCMP認定機器)	大臣認定を受けた型式と同一である		判定	良 否
2. 巻上機 制動面	制動面および油排出場所の状況	a.制動面に油付着はない b.油排出場所から油は流出していない		判定	良 否
3. 網車	停止距離(トラクション)の状況 上かご最上階付近一人乗り状態で検査速度(12m/min)上昇時のかご停止距離を測定する	①停止距離が「規定値-前回からの変化量」以下であること 変化量:今年度の停止距離-前年度の停止距離 ※変化量がマイナスの時は0と判断する 規定値A _____ mm		今年度の停止距離	mm
				前年度の停止距離	mm
				過去1年間の停止距離の変化量	mm
		②「変化量が規定値以下」であること 変化量:『今年度の停止距離-前年度の停止距離』 規定値 _____ mm		判定	良 否
4. ブレーキ	4-1 制動力の状況	①制動トルク値が「規定値+前回からの減少量」以上であること 変化量(絶対値):今年度のトルク値-前年度のトルク値 ※変化量がプラスの時は0と判断する 規定値 _____ Nm		ブレーキ1 (右)	
				今年度の制動トルク値	Nm
				前年度の制動トルク値	Nm
				過去1年間の制動トルクの変化量	Nm
	②算出された制動トルク値の変化量が規定値以下であること ※変化量がプラスの時は0と判断する 規定値 _____ Nm		判定	良 否	
	ブレーキ2 (左)		今年度の制動トルク値	Nm	
			前年度の制動トルク値	Nm	
			過去1年間の制動トルクの変化量	Nm	
判定			良 否		
4-2 作動時間の状況 ブレーキ作動時間を測定する	①作動時間が「規定値-前回からの変化量」以下であること 変化量:今年度の作動時間-前年度の作動時間 ※変化量がマイナスの時は0と判断する ※規定値:174ms		ブレーキ1 (右) 作動時間		
			今年度の作動時間	ms	
			前年度の作動時間	ms	
			変化量	ms	
	②ブレーキの動作が円滑であること 異常音、異常振動がないこと		判定	良 否	
	ブレーキ2 (左) 作動時間		今年度の作動時間	ms	
			前年度の作動時間	ms	
			変化量	ms	
判定			良 否		
③変化量が規定値以下であること ※変化量がマイナスの時は0と判断する ※規定値:52ms					

戸開走行保護装置(常時作動型)検査記録表2

検査対象	検査内容	判定基準		検査記録		
5. 動力遮断用 コンタクタ	作動時間の状況 コイル電流遮断から常開接点が開状態になるまでの作動時間を測定する	作動時間が『規定値-過去1年間の作動時間変化量』以下である事 変化量=今年度の作動時間-前年度の作動時間 ※変化量がマイナスの時は0と判断する	#36 作動時間	規定値	ms	
				今年度の作動時間	ms	
				前年度の作動時間	ms	
				変化量	ms	
				判定	良	否
			#B4A 作動時間	規定値	ms	
				今年度の作動時間	ms	
				前年度の作動時間	ms	
				変化量	ms	
				判定	良	否
			#B4B 作動時間	規定値	ms	
				今年度の作動時間	ms	
				前年度の作動時間	ms	
				変化量	ms	
				判定	良	否
6. ランディック用 コンタクタ	作動時間の状況 コイル電流遮断から常開接点が開状態になるまでの作動時間を測定する	作動時間が『規定値-過去1年間の作動時間変化量』以下である事 変化量=今年度の作動時間-前年度の作動時間 ※変化量がマイナスの時は0と判断する	#A36 作動時間	規定値	ms	
				今年度の作動時間	ms	
				前年度の作動時間	ms	
				変化量	ms	
				判定	良	否
7. ブレーキパッドの 動作感知装置	ブレーキ開放、締結時における動作感知装置の接点信号確認	a.ブレーキ開放時:接点开 b.ブレーキ締結時:接点閉である (E/C:62、63が出力されていない)		判定	良	否
8. 特定距離感知装置	特定距離感知装置が正常に作動することを確認する	特定距離感知装置は75mm以下で作動する	上昇	判定	mm	
					良	否
			下降	判定	mm	
					良	否
9. 安全制御 プログラム	プリント基板型式を確認する	ラベルに記載されているプログラム名称は同一である		判定	良	否
	電源リセット操作を行い、正常に運転できることを確認する	正常に運転可能である		判定	良	否
10. かご戸スイッチ	スイッチの作動状況	戸を徐々に閉めて行きスイッチ動作位置は全閉位置から25mm以下である(COタイプは50mm)		判定	良	否
11. 乗場戸スイッチ	スイッチの作動状況	戸を徐々に閉めて行きスイッチ動作位置は全閉位置から25mm以下である(COタイプは50mm)		判定	良	否

戸開走行保護装置(常時作動型)検査記録表2

3/3

検査対象	検査内容	判定基準	検査記録		
12. 速度監視装置	作動の状況 速度が規定値以下であることを確認する	測定値 ≤ 規定値 規定値: 15.7m/min	規定値	m/min	
			測定値	m/min	
			判定	良	否
13. かごつま先保護板	外観確認	過度の変形はない	判定	良	否
	かごつま先保護板の直線部長さの測定 ※かご敷居よりエプロン直線部下端までの長さ	直線部長さは規定値以上である	規定値	mm	
			測定値	mm	
			判定	良	否

現場名 : _____

社内登録番号 : _____